

国労本部電送 NO. 311	発信日 2020年8月14日	発信 企画部	責任者	受領者

指示第108号  
2020年8月14日

各 エリア本部  
各 執行委員長 殿  
各 地方本部

国 鉄 労 働 組 合  
中央執行委員長 松川 聡

## 第 89 回定期全国大会の書面開催にあたっての判断について

国労はこの間、機関会議の延期や諸行動の相次ぐ中止など活動の自粛を余儀なくされる困難な事態の渦中にあっても、組合員の生活と雇用、家族を守るため、コロナ感染防止のために中断なく情報の共有化をはかって書面による会議開催等の判断を節目節目において行ない、組織が結束を固めてこの難局を乗り越えていくために各機関が取り組むべき集中課題として「当面する闘争方針」を提起してきた。

こうしたなか、すでに明らかにしたように来る9月17日～18日の第89回定期全国大会の開催方法のあり方について、本部305号（指示第105号7/3付）において感染予防の観点から書面審議による開催も含めてただちに検討に入ることを指示したが、この間、各エリア・地方本部からも忌憚のない意見が本部に寄せられた。

中央執行委員会は、あらためて連日の猛暑の中、コロナ感染防止につとめ、安全・安定輸送のために日々職場の最前線で奮闘されている仲間に関心と敬意を表すると共に重ねて御礼申し上げる。

周知のように新型コロナウイルスの世界の累計感染者はいよいよ2,000万人を超えたが、1,500万人に到達した7月22日から20日間足らずで一気に500万人増えるなど感染者数は際限なく加速度的に急増している。

一方、国内においても一時は少なくなっていた一日当たりの感染者数は6月下旬から増加し、大都市圏から地方都市に一気に流行が拡大する中で、8月に入ってから1千人を超える日が続き、若い年齢層から症状が悪化する高齢の重症者に加えて不幸にも死亡する方が徐々に増えはじめてきており、医療提供体制の疲弊が深刻となっている。

こうした逼迫した情勢のもと、本部としては各エリア・地方本部から出された貴重な意見や要望も踏まえて、感染リスクを最大限回避するため、本日をもって書面審議による定期全国大会の開催を判断することとする。

最終的には8月20日の第16回中央執行委員会において正式に決定し、すみやかに書面審議による全国大会の開催に向けた必要な具体的手続きと作業に入ることとするが、各級機関においてもその旨を全組合員に周知徹底すること。

以 上